完 了 届

2023 年 3 月 31 日

社会福祉法人造恵会
「府中めぐみ保育園」 御中

評価機関番号 機構02－009
評価機関所在地 東京都中野区中野四丁目11番10号
評価機関名 特定非営利活動法人NPO専門職ネット 印
代表者名 理事長 松浦 哲哉

今般の第三者評価に実施につき、「評価結果報告書」を2023年3月31日、
東京都福祉サービス評価推進機構へ提出いたしました。
ここに、第三者評価の完了をご報告いたします。

以上

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023 年　3 月　27 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人　東京都福祉保健財団理事長　殿

〒　164-0001

所在地　東京都中野区中野4－11－10　ｱｰﾊﾞﾝﾈｯﾄ中野ﾋﾞﾙ

評価機関名　特定非営利活動法人NPO専門職ネット

認証評価機関番号　機構 02 ― 009

電話番号　03-5913-6417

代表者氏名　松浦哲哉

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号		評価者氏名	担当分野	修了者番号
	①	笠原玄太	経営	H0307021
	②	高橋章子	福祉	H1201022
	③	須永十三男	福祉、経営	H0201052
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	府中めぐみ保育園			
事業所連絡先	〒	183-0023		
	所在地	東京都府中市宮町1－21－2　104号室		
	TEL	042-336-6620		
事業所代表者氏名	園長　水嶋和代			
契約日	2022 年　11 月　1 日			
利用者調査票配付日（実施日）	2022 年　12 月　5 日			
利用者調査結果報告日	2023 年　2 月　16 日			
自己評価の調査票配付日	2022 年　12 月　5 日			
自己評価結果報告日	2023 年　2 月　16 日			
訪問調査日	2023 年　2 月　22 日			
評価合議日	2023 年　3 月　20 日			
コメント（利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入）	利用者調査については、あらかじめ評価実施のお知らせを園を通じて保護者へ周知した。その後、アンケート用紙を調査実施の案内状と返信用封筒（料金受取人払郵便）を添えて園を通じて配付し、直接評価機関へ返送して回収するという形式をとった。職員シートの配付時に、内容や記入の流れを簡潔にまとめた書面を同封して、第三者評価の理解と記入法等を周知徹底した。事業所の自己評価および集計結果資料に基づき訪問調査を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
- ☑ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023 年　3 月　30 日

事業者代表者氏名　水嶋和代

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：認可保育所〕

令和4年度

《事業所名：府中めぐみ保育園》

1	**理念・方針 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）**
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1）安心・安全・成長・つながりの保育（組織力の向上・コンプライアンス・事務の効率化） 2）保育内容の充実・丁寧に、やさしい保育（基本的人権の尊重・保育所保育指針の理解・保育の標準化） 3）学び続ける保育者の人材育成（感性・知識を培う園外・園内研修の充実） 4）職員の雇用・処遇の安定と健全な財政基盤の確立（職員間の連携と組織力の強化） 5）地域の子育て支援（保育園の力を、地域の子育てに活かす）
2	**期待する職員像 （関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）**
	（1）職員に求めている人材像や役割
	・豊かな想像力と新たな課題に積極的に取り組む実行力を持ち、園児や保護者から信頼され、親しまれる職員 ・日々の実践からの学びと研究することを通して、“自ら学び続ける保育者”として、職務に専念する職員 ・組織の一員であることを認識し、意欲的に保育に取り組む職員
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	・常に学ぶ姿勢を持っていること ・保育園で働こうとした初心を忘れず、高い志と大きな希望を持ち、園児や保護者から認められるよう努めること ・コミュニケーション能力を身に付け、園児や保護者の目線に立ち、好かれ愛されるよう努めること ・何事においても目標を持ち、計画と実践、評価を行い、次につなげていくよう努力すること ・組織人として、課題解決（P・D・C・A）ができるよう努力すること

《事業所名：府中めぐみ保育園》

調査対象	利用する子どもの総数36名の保護者世帯（36世帯）を単位として対象とした。
調査方法	利用者調査実施の案内状と返信用封筒（料金受取人払郵便）を添えて、アンケート用紙を園を通じて配付した。記入後のシートは、園を介さずに、直接評価機関へ郵送という形で回収した。

利用者総数	36
利用者家族総数（世帯）	36
共通評価項目による調査対象者数	36
共通評価項目による調査の有効回答者数	22
利用者家族総数に対する回答者割合（%）	61.1

利用者調査全体のコメント

「現在利用している『府中めぐみ保育園』を総合的にみて、どのように感じているか」の問いに対して、回答者の全員が「満足」以上（「大変満足」が約86%、「満足」が約14%）と回答しており、「どちらともいえない」、「不満」、「大変不満」との回答はみられなかった。回答者の全員が園の支援を評価していると考えられる結果となっている。回答者からは、「子どもの発達、成長に寄り添った保育」、「アットホームな保育」、「日々の様子を写真付きで渡してくれたり、月1回子どもの写真をまとめてくれて、園の様子が分かって安心」、「日々の園内外の遊びもバリエーション豊か」、「担任だけではなく、看護師や栄養士も随時相談に乗ってくれる」、「家では全然食べてくれない葉物も園の給食では全部食べているよう」などの声がみられている。個別の質問についても、「はい」と回答する割合が90%を超えているものが多く、100%となっているものも6項目みられている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	22	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答している。回答者からは、「他の子どもから刺激を受けて、言葉や協調性を学んでいると感じる。体をたくさん動かして、心身ともにすこやかに成長できていると感じる」との意見がみられている。回答者の全員が園の活動を評価していると考えられる結果となっている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	22	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答している。回答者からは、「それぞれの成長に合わせた活動をしており、親としても勉強になる」、「驚くほどバリエーション豊かで、雨の日も色々な遊びで楽しませてくれている。『帰りたくない』といわれることもあり、楽しいのが伝わってくる」との意見がみられている。回答者の全員が、園の活動を評価していると考えられる結果となっている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	22	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答している。回答者からは、「卵アレルギーの配慮も徹底されており、感謝」、「バランスよく、手作りで、材料にこだわって作ってくれている。いつもたくさんお代わりをしているよう」、「食事量も考え提供してくれるので助かっている」との意見がみられている。回答者の全員が、園の食事を評価していると考えられる結果となっている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	22	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答している。回答者からは、「戸外遊びは、天気の日はほぼ毎日、ご近所のお店との関わりもあり、コロナ禍のわりに頑張ってくれていると思う」との意見がみられている。回答者の全員が園の関わりを評価していると考えられる結果となっている。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	18	0	0	4
回答者の約82%が「はい」と回答している。回答者からは、「とても柔軟である。ありがたい」、「延長保育をギリギリでお願いしても快く対応してくれる」、「遅延のときなど、いつもありがとうございます」との意見がみられている。回答者の多数が園の対応を評価していると考えられる結果となっている。「非該当」とした回答者からは、「対応状況を把握していない」との意見がみられている。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	19	2	1	0
回答者の約86%が「はい」と回答している。回答者からは、「二重ロックになっていて、インターホンでもクラス名と名を言う必要があり、安心」との意見がみられている。回答者の多数が、園の対策を評価していると考えられる結果となっているが、友達同士のトラブルに関する意見が一部にみられている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	15	7	0	0
回答者の約68%が「はい」と回答している。回答者からは、「たまに平日もあるが、土曜が多く、助かっている」、「親子で参加できるイベントを土日にしてくれているので助かっている」との」意見がみられている。回答者の多数が園の設定を評価していると考えられる結果となっているが、平日の行事設定についての意見も一部にみられている。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	21	1	0	0
回答者の約95%が「はい」と回答している。回答者からは、「毎日お迎えに行くと、今日あったことを親のように嬉しそうに話してくれ、こちらも嬉しい」、「毎日のノートで、相談したことを、お迎えの時に話してくれたり、アドバイスをしてくれたりして、とても助かっている」との意見がみられている。回答者の大多数が、職員との信頼関係を評価していると考えられる結果となっているが、「職員による」との意見も一部にみられている				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	20	1	0	1
回答者の約91%が「はい」と回答している。回答者からは、「入る機会は一度しかなかったが、きれいだった」との意見がみられている。回答者の大多数が、園の環境を評価していると考えられる結果となっているが、「コロナ中のため、入ったことがない(のでわからない)」との意見が一部にみられている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	22	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答している。回答者からは、「気になることはない」との意見がみられている。回答者の全員が職員のビジネスマナーを評価していると考えられる結果となっている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	21	1	0	0
回答者の約96%が「はい」と回答している。回答者からは、「ケガはきちんと謝ってくれる。体調が悪い時も少し様子を見てくれるので助かる」、「いつも報告をしてくれるし、冷やしてくれたり、問題ない」、「噛みつかれる…ということが続いて不安になったが、対応は良く、その後安心して預けられた」との意見がみられている。回答者の大多数が、職員の対応を評価していると考えられる結果となっている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	14	3	1	4
回答者の約64%が「はい」と回答している。回答者の過半数が園の対応を評価していると考えられる結果となっている。「非該当」とした回答者からは、「未だそのような話は聞いていない」との意見がみられている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	22	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答している。回答者からは、「とても思う。子どもも職員が大好きである」、「イヤイヤがしっかり出る時期であるが、子どもに合わせて抱きしめてくれたり、話を聞いてくれ、感謝している」との意見がみられている。回答者の全員が、園の対応を評価していると考えられる結果となっている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	21	0	0	1
回答者の約96%が「はい」と回答している。回答者からは、「具体的にはピンとこないが、職業や年齢は知られていない感じがする」との意見がみられている。回答者の大多数が園の対応を評価していると考えられる結果となっている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	21	1	0	0
回答者の約96%が「はい」と回答している。意見は特にみられていない。回答者の大多数が、職員の説明を評価していると考えられる結果となっている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	19	1	0	2
回答者の約86%が「はい」と回答している。回答者からは、「スケジュールの調整など、すぐに対処してくれる」との意見がみられている。回答者の多数が園の対応を評価していると考えられる結果となっている。「非該当」とした回答者からは、「不満を持ったことがない」との意見がみられている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	13	2	0	7
回答者の約59%が「はい」と回答している。回答者の過半数が園の伝達を評価していると考えられる結果となっている。「非該当」とした回答者からは、「園を越えて対応が必要な事態になったことがないため」との意見がみられている。				

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目
1	カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1（1-1）

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　7／7

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当

評価項目2
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
◉あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当

評価項目3
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
◉あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◉あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

カテゴリー1の講評

園が目指すものが明確化され周知が図られている

園が目指すものは、ビジョン、保育目標、理念、基本方針等の形で明確化されている。保護者に対しては、ホームページやパンフレット、見学の際の説明、入園説明会で説明され、入園後も懇談会や個人面談の機会に説明がなされている。職員に対しては、毎年度年度初めに行なわれる新年度打ち合わせ会議で園長が作成した資料をもとに時間をかけて説明がなされている。

経営層は役割に応じて園運営をリードしている

園長は園運営を統括する立場であるが、自ら先頭にたって改善に取り組んでいる。会議のやり方や保育計画を策定から実施、反省を踏まえての改善につながる流れを構築すること、職員マナー的なことについての指導等、様々な面でリーダーシップを発揮し、さらに部下の育成にも取り組んでいる。事務長は地域の要保護対策委員に就任し、地域貢献活動を行なっている。

重要案件を決定するしくみが構築されている

案件に応じて決済のルートが定められ、重要案件は理事会・評議員会の決議を経て決定されている。決定事項については、保護者に対しては文書の配付や掲示にて周知を図っている。職員に対しては職員会議で報告され、必要に応じて検討がなされている。保護者や地域からの意見で、必要と思われるものには直ちに検討がなされるよう取り組んでいる。

	カテゴリー2
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1(2-1)

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　6／6

評価項目1
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　　評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2(2-2)

実践的な計画策定に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目1
事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している　　評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる　　評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◉あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

保護者や職員の意見を取り入れた運営になるようにしている

毎年第三者機関による保護者アンケートを実施し、保護者の意見を吸い上げている。また、行事ごとにアンケートを実施し、そこにあがった意見を参考にして次回の実施に活かすようにしている。職員に対しては、個人面談の機会を通して意見を把握することに加えて、職員提案制度が法人として実施されている。優れた提案については表彰も行なわれ、職員が積極的に意見を出しやすいようにしている。

保育に関するニーズ把握に取り組みそれを踏まえて活動をしている

府中市の園長会に参加することで、地域のニーズ把握に取り組んでいる。園長は子育て支援に関わる団体や学会に参加し、情報を収集して必要に応じて朝のミーティングで職員に伝えている。法人の理事長、事務長、グループ園の園長、主任により構成され、月2回開催される本部会議において、情報交換や課題解決に向けた検討がなされており、組織の実情に合わせた運営への取り組みがみられている。

計画的な運営と臨機応変な対応のバランスが取られている

毎年事業計画が立てられ、それに基づいて計画的な運営が図られている。前年度の事業報告が作成され、そこに現れた課題をもとに新しい事業計画が立てられる形で、前年度より改善された形で運営に取り組まれている。一方でコロナ禍において状況が刻々変わるなかで、臨機応変の対応にも取り組まれ、行事等においてもその都度実施形態を検討して、可能なものを可能な形で実施することに取り組まれた。

カテゴリー3	
3	経営における社会的責任

サブカテゴリー1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2／2

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4／4

評価項目1
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◉あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

	カテゴリー3の講評
	保育に従事する者として適切な行動を取れるよう意識付けが図られている 就業規則の服務に関する規定において、職員として取るべき行動が明確化されている。また、毎年年度当初に行なわれる新年度打ち合わせにおいても、保育職員としての適切な言葉がけを再確認している。不適切な支援とならないよう、虐待に対する外部の研修に参加したり、園内で事例検討も行なわれている。NG用語集の用意も含め、適切な行動がとれるよう、総合的に意識付けが図られている。 園運営の透明化が図られている ホームページに園の活動状況が分かる写真が多数掲載され、外部に発信されている。また、定期的に受審している東京都福祉サービス第三者評価の結果が都の外郭団体のホームページにアップされ、外部から園の取り組みがわかるようになっている。保護者に対しては、写真等も用いた形で子どもの活動の様子が伝えられている。加えて、保育士養成校からの実習生受け入れも継続されており、園の様子を外部の人間が見る機会となっている。 苦情解決に向けてしくみを整えている 利用者が苦情解決に関するしくみを遠慮なく利用できるよう、入園説明会にて受け付けの方法と第三者委員の説明を行なっている。また、新年度には園だよりで知らせている。加えて、園の玄関にも掲示して日常的に知ることができるようにしている。苦情に限らず寄せられた意見については園から回答するようにされており、保護者の意見に対して真摯に対応が図られている。

カテゴリー4	
4	リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◉あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
◉あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2(4-2)

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4

評価項目1
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◉あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◉あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

園で発生するリスクに応じた対応がとられている

火災や地震の発生に備えて、避難訓練が計画的に行なわれている。警察と連携して不審者対応訓練も実施されている。大規模災害発生に備えて、食料や水が備蓄され、職員について帰宅困難者対応のしくみも構築されている。保護者への連絡については一斉配信メールのしくみが導入されている。園で発生した事故については、ヒューマンエラーの原因分析手法を用いた分析・検討が行なわれ、再発防止に努めている。事故の手前のハッとする事態についても、副主任保育士による集計・分析・報告がなされ、各担当が改善を発表する形で対応に取り組まれている。

個人情報については媒体の性質に応じた管理がなされている

運営法人が個人情報の保護に関する規定を作成しており、これが個人情報保護の基本となっている。紙媒体で保管されている情報については、鍵付きの棚で保管している。電子化された情報については、パソコンにパスワードを設定して管理していることに加えて、持ち運び可能な記録媒体の取り扱いについては毎月職員会議で確認を行なっている。管理にあたっては氏名等ではなく番号で管理して、万一流出しても個人が特定できないようにしている。実習生や新人職員にはオリエンテーションで説明している。

	カテゴリー5
5	職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12／12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
◉あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3／3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◉あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

	カテゴリー5の講評
	園の求める人材像にあった職員の採用に取り組んでいる 職員の採用は、法人として取り組んでいる。ハローワークへの登録、養成校への求人票送付、就職フェアへの参加等により人材へのアプローチを行なっている。応募者には、理事長・園長2名・事務長による面接を実施し、実技、小論文の結果と合わせて採否を決定している。子どもへの思いやなりたい保育士像、笑顔、健康といった諸点を考慮して採用に結び付けている。 職員にとって働きやすい職場になるよう取り組んでいる 職員との個人面談の機会を通して、職員の仕事や家庭に対する思いや悩みを聞き出している。子どもの巡回相談に来る作業療法士は、職員のメンタル面の相談にも応じている。休憩時間を確保して職員がリフレッシュできる機会を確保するとともに、介護休暇や看護休暇については時間単位でも取れるようにされており、職員が仕事と家庭の両立を図りやすくしている。 気付いたことに対して即対応していくスピード感がある 職員が気付いたことについては、朝のミーティングや職員会議で報告がなされ、できるものは直ちに実行に移され、検討を要するものは主任・副主任会議に提案され、検討した後に実行に移されている。予定していた取り組みがコロナ禍だからできないと考えるのではなく、どうすれば安全に行なうことができるのかと捉えることで、前向きにかつスピーディーに取り組む姿勢がみられている。

	カテゴリー7
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度(2021年度)は「自然の中で　お日様をあびて　感性を育む」を重要課題として取り組んだ。少子化が進む中で、0歳から2歳までの子どもを預かる園として、5歳まで通い続けられる園が増える中であえて選んでもらえるよう質の高い保育を提供する必要があり、その一環として戸外活動を充実させる必要があると考え、この課題に取り組まれた。具体的には、散歩の手順にしたがって職員配置を確認し、ねらいに沿った場所を選び、置き去りを防ぐための人数確認を丁寧に行ない、道路安全確認対策や緊急事態への対応手順等について職員への周知を図った。また、子どもの様子は写真等で記録し、保護者に取り組みの成果を伝えるようにして好評であった。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

当園はマンションの1階にあり、園庭はない。そのため、散歩等の戸外活動は子どもの五感を刺激し心も体も豊かなものになるため非常に重要な機会となる。そのために戸外活動の充実を課題として取り上げたことは評価できるものとなっている。一方で戸外活動にはリスクも伴うため、慎重な対応が必要になってくる。当園では、そのリスクも認識しながら戸外活動に消極的になることなく、安全でかつ子どもの成長や社会情勢に合わせて目的を明確にした戸外活動の実施に取り組んでおり、一つひとつの活動について惰性で行なわないという園の姿勢がみられている。また、その活動の成果を保護者に分かりやすく伝える取り組みには、保護者とともに子育てにあたるという園の姿勢が現れている。

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度(2021年度)は「初めて出会う保育者の表情や振る舞い、言葉との出会いを大切にする」を重要課題として取り組んだ。これは、コロナ禍において職員もマスクを着用して保育に当たらざるを得ず、顔の表情や口の動きが伝わりにくく、コミュニケーションも取りづらい状況にあったことが背景にある。特に0歳児や1歳児は言葉を獲得していく時期でもあるため、マスクを着用してもできることを考え、取り組んだ。具体的には、離乳食時には「モグモグ」など声を出す工夫をしたり、マスクの材質を検討して顔の動きが少しでも見えやすいようにしたり、マスクの下の笑顔を忘れずに子どもに丁寧に語りかけたり、保護者に家庭では表情豊かに子どもに接するよう依頼したり、写真等で伝える子どもの様子をきっかけとして保護者に家庭でのコミュニケーションをより取ってもらうように依頼する等により、子どもが言葉も含めたコミュニケーション力を身につけられるように取り組んだ。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園ではマスクではなくフェイスシールドの着用も検討されたとのことであったが、やはり感染のリスクを考えてマスク着用を選択したとのことである。マスク着用による子どもへの悪影響を少しでも軽減するために身振り手振りの活用や、保護者にも依頼してコミュニケーションを図る等の様々な取り組みがなされたことは評価できる。今後の感染症の状況をみながら継続した取り組みがなされることに期待したい。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4／4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点（○○○○）	
	評価	標準項目	
	◉あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	◉あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
	◉あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	◉あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当

サブカテゴリー1の講評

ホームページで利用希望者等に園の情報を分かりやすく伝えている

園のホームページには、園の理念、園の特長(目標・保育内容等)、園の紹介(年間行事、1日の流れ、お散歩マップ)、健康への取り組み、食への取り組み(給食への取り組み・給食の内容・離乳食・アレルギー・食育・給食レシピ・食材仕入れ先)、お知らせ(誕生会などの行事)、近日開催行事等がひと目で分かるように図解や写真付きで載せられている。

園の情報は行政・地域・関係機関に提供されている

市の公式ホームページから園のホームページにアクセスできるようになっている。行政機関には運営状況、食育への取り組み、感染症や避難訓練などの情報を提供している。また、社会福祉協議会などにも情報を提供している。職員の担当を決め、内容が更新された場合には、最新情報を提供している。

園見学の希望者には個別の状況を聞きながら対応している

園の見学の希望者は園のホームページのお問合せからアクセスし、申し込みができるようになっている。コロナ感染症の中でも全職員と話し合い、保育園と保育をどう伝えるかを検討し、子どもの利用の少ない土曜日に園見学を実施している。人数は1回3名までとして、時間を区切って行なっている。土曜日以外の希望者には希望に沿って対応している。

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
◉あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◉あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
◉あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

利用開始時には入園説明会を開き、内容を詳しく説明している

入園説明会は感染防止のために広い会場を借りて行ない、「保育のしおり」、「重要事項説明書」に沿って説明を行なっている。専門分野については看護師や栄養士が説明を行ない、説明後は質疑応答の時間を設けて保護者からの質問に丁寧に答え、不安解消につなげるようにしている。説明内容は文書として配付し、同意書は質疑応答後に提出をお願いしている。

新しい環境に安心して過ごせるよう個人面談を行ない情報を収集している

入園時前の一次審査後に個人面談を行ない、入園前の子どもの様子や園に配慮してほしい事項の情報を収集し、全職員と子ども一人ひとりの入園前の様子を共有している。入園直後には集団保育準備期間を設け、子どもがスムーズに園生活に慣れることができるようにしている。集団保育準備期間予定表は、保護者の意向も踏まえて作成している。

子どもや保護者が継続保育への移行の際に不安がないように支援や交流を行なっている

低年齢児保育園として2歳児クラスでの修了となることを踏まえ、3歳からの継続保育への移行には府中市により指定園制度が設けられている。子どもと保護者の不安を軽減するために、公立保育園に移行する子どもには看護師から子どもの情報を提供している。送り出した後3年間は年賀状を送り、小学校への入学の際は「入学おめでとう」のはがきを送る取り組みをしている。

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12／12

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(OOO)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
◉あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(OOOOO)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
◉あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
◉あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(OO)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
◉あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(OO)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
◉あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活状況等を把握し発達や変化を定期的に見直し記録化している

子ども一人ひとりの情報を児童状況票、児童表、成長発達の記録、健康ノート、保育日誌等で記録し、把握している。発達や変化に応じて、毎月の様々な会議での話し合いも踏まえて指導計画・健診記録・児童表・園日誌に記録している。連絡帳のやり取りや保護者との個人面談を通して、保護者の意向も記録している。

子どもの発達を捉えて個別指導計画を作成し成長や変化に伴って見直しを行なっている

年度初めに全体的な計画を踏まえ、年間指導計画を養護・教育に分けて立案している。月間指導計画については全職員による指導計画会議で話し合い、保護者の意向を踏まえて微調整した上で決定している。計画実施後には、全職員で当月の評価反省を行ない、それを踏まえ次月の計画立案に活かしている。年間指導計画は前期後期に会議を開き、見直しを行なっている。

子どもの発達する姿を日々の申し送りや会議などで職員間で共有をしている

低年齢児保育においては発達における変化が著しいため、保育者との一対一の関係を重視すると共に、園全体の職員が一人ひとりの子どもを理解し把握することに重点を置いて職員間の情報共有を行なっている。全職員での指導計画会議や月1回の非常勤ミーティング、朝夕のミーティング、引継ぎ簿などで職員全体への共有化を図っている。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
◉あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

子どものプライバシー保護に取り組んでいる

子どもの写真の取扱いについては、保護者に入園時の説明会で重要事項説明書に基づいて方針を伝え、園内で使用する場合と園外に向けて使用する場合に分けてそれぞれ同意を取っている。また、写真をフォトコンテストで使用する場合には別途同意をとっている。水遊びや着替え等の際には、パーテーションを用いる等のやり方で外部から見えないようにして、子どもの羞恥心に配慮している。

子どもや保護者を尊重した保育になるよう取り組んでいる

虐待防止については、外部の研修に参加してその成果を報告や書類回覧で共有化するとともに、園内の虐待防止マニュアルについて周知徹底を図っている。また、運営法人の研修で子どもの権利条約について学んでいる。日常的に子どもの言葉を受け止めて寄り添うように心がけた保育に取り組むとともに、保護者に対しても月の指導計画について話し合う機会を持つなど、子どもや保護者を尊重した運営を心がけている。

	サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◉あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

マニュアルを整備して園運営の水準確保に取り組んでいる

園では保育に関するものや虐待防止に関するもの、防災、アレルギー、次世代育成支援、自殺対策等様々な分野におけるマニュアルを用意して、園運営の水準確保に取り組んでいる。感染症対策に関するもののように、頻繁に見直す必要があるものは、都度職員間で話し合いを行ない、改定をしている。マニュアルで判断しきれない部分は、園長、主任に確認を取って進めるようにしている。

保護者や職員の声を活かして業務水準向上を図っている

保護者に対しては、年1回個人面談を実施することとされており、それ以外にも保護者から求められたり、支援の必要性が感じられた場合には、随時面談を行ない、保護者の意向把握に取り組んでいる。職員についても、年2回個人面談の機会を設けてその意向把握に取り組んでいることに加えて、職員提案制度が設けられ、良い提案には表彰を行なうなど、職員の思いを反映した園運営になるようにしている。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

	サブカテゴリー4		
	サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	34／34

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

評点（○○○○○）・非該当1

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
◉あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
○あり ○なし	6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	◉非該当

評価項目1の講評

子ども一人ひとりの発達を把握し主体的に活動する保育を行なっている

日々の子どもの生活や遊びを通して一人ひとりの発達や気持ちを把握した上で、満足した活動が出来るように全職員で子どもが主体的に遊べることが出来るような環境を工夫している。室内でのコーナー遊びでは、夢中で遊び込めるように発達を促す玩具を置くなどの工夫を行なっている。室内遊びでも、体を動かす運動遊びを楽しめる場所を設定している。お日様を浴びて自然の中で遊ぶ事に重点を置き、散歩や公園遊びを行なうなど、発達にあった場所を選んで保育している。

配慮の必要な子どもへの保育は丁寧に行なっている

特別な配慮が必要な子どもが安心して園生活ができるよう、専任保育士が一対一の保育を行っている。専門機関との連携では市役所を通して年8回の巡回相談が受けられ、作業療法士の訪問を受けている。その際にはカンファレンス会議を持ち、子どもへの対応について具体的に指導を受け、職員のメンタルの面での相談にも応じてもらっている。巡回相談後は全体会議を開き、共通理解を持って保育している。

噛みつき等のトラブルでは子どもの気持ちを受け止めることに重点を置いている

0・1・2歳児では発達過程のなかで、気持ちが伝えられずに即、行動に出てしまうことを、職員一同が学びあい、まずは子どもの気持ちを肯定的に受け止め、お互いの気持ちを代弁しながら見守る対応をしている。また、トラブルの要因を考え、環境の見直しを行なっている。保護者には噛みつき等のトラブルへの対応について、入園の際や懇談会やおたよりなどの機会を通して伝えている。

2 評価項目2
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◉あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◉あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

送迎時には家庭や園での子どもの様子を伝え合うことに重点を置いている

子どもの送迎時は、職員が必ず一人ひとりの子どもや保護者に声をかけ確認を行なっている。登園の際は連絡帳の記載や健康観察で体調や情緒面についての把握に心掛け、気が付いたことを引継ぎ簿に記録するとともに、朝のミーティングで報告を行ない、子ども一人ひとりの様子を職員全員で共有化し、保育に活かしている。降園時にも、写真等を用いて子どもの園での様子を可視化し、連絡帳により園での様子を伝える取り組みを行なっている。

基本的な生活習慣は一人一人の発達に応じて身につくよう援助している

0・1・2歳児は月齢や発達に応じて一人ひとりの違いがあるため、職員全員で日々の子どもの様子を確認し合うことで、生活習慣や食事でのマナーについて、褒めながら身に付くように援助している。トイレトレーニングについては、保護者に対して看護師や保育者からおたよりや懇談会等で身体的な発達に伴って自立することを伝えながら、保護者と相談しながら進めるようにしている。

一人ひとりの発達や体調に合わせた休息を取るようにしている

発達の違いや差が大きい0・1・2歳児の保育として生活時間やその日の体調を考慮し、休息時間の延長や短縮を行なっている。状況に応じては保護者と相談しながら休息を取るようにしている。

3 評価項目3
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
◉あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
◉あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子ども一人ひとりが夢中になって遊びを楽しめるように取り組んでいる

「生き生きと元気に遊べる子」の目標に向かって、発達に合った遊びに職員が関わり、楽しさを体全体で伝えられるよう、一緒に遊ぶことを大切にしている。その積み重ねが心身の成長を促し、遊びと出会いを経験することで楽しさや面白さを知って夢中になれるよう、職員全員で環境設定や玩具の選択、目標に見合った外遊びとなるように取り組んでいる。

言葉の習得に大切な時期に保育者と遊びながら語彙を増やすようにしている

0歳児は心身の発達が著しく活発になる時期であり、様々なものに触れて五感が活発になる時期でもあるため、一対一でゆったり関わりながら、言葉を添えるようにしている。1・2歳児にも子どもの活動に丁寧に添いながら、子どもが発信した言葉を受け止めて応答するようにしている。絵本の読み聞かせも心を添えて、言葉を丁寧に伝えている。

五感を通して季節を感じるように戸外遊びを大切にしている

「自然の中でお日様を浴びて遊ぶ」保育の実現を大切にして、悪天候の日以外は毎日、朝・夕と散歩に出かけ、空気・風・空・雲・花・虫・草など自然を見て五感で感じる取り組みを行なっている。季節によって公園を選び、楽しむようにしている。また作品展を開く中で、臨床美術士の支援も受けながら自然や季節を感じることを大切にしている。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
◉あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
◉あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

子どもたちが日々の活動の中で興味や関心を持っていることを行事に取り入れている

行事では個々が興味を持ち、「やってみよう」、「やってみたい」と日々遊んでいる内容を取り入れる工夫をしている。0歳児には日々の興味や遊びを把握し、楽しんでいる活動を見ながらプログラムに取り入れている。朝夕の散歩で子どもが土に触れる事が大好きなことを把握し、芋ほりを取り入れるなどしている。

仲間で楽しみ満足感を味わえる行事になるようにしている

0・1・2歳児という低年齢の育ちの中で、行事は初めての経験と捉え、まずは行事を楽しみ、その楽しみをそばにいる人や仲間と共有することに目標を置いて取り組んでいる。行事に取り組んだ際の子どもの表情や喜び、満足感がどうであったかを記録し、職員で話し合い次の行事につなげている。

伝承行事では保護者に冊子を配付し保護者と行事を楽しめるようにしている

コロナ感染症で保護者参加型の行事の取り組みが十分にはできなかったため、写真等を配布して行事の様子を伝え、共に参加した気持ちで子どもとのコミュニケーションを取ることができるようにしている。年間を通しての伝承行事では行事担当の職員が冊子(伝承されてきた経緯・実際の様子等)を作成して保護者に配付し、共に伝承行事への関心を持ってもらえる取り組みがみられている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

落ち着いて過ごせるよう保育時間の長い子どもの保育に配慮をしている

1・2歳児という低年齢を考慮して、延長時間の終了までの保育は一人ひとりの発達や日々の子どもの体調や様子を見て、子どもがしたいこと、やってほしいことなど子どもの気持ち察知し、ゆったり過ごせる環境を整えることに重点を置いている。また職員と一対一で関わる時間の中で、抱っこや絵本読みなどを大切にしている。異年齢での関わりもゆったりした環境のなかでできるようにしている。

子どもが遊びを保育形態に変化が生じても落ち着いて過ごせるようにしている

夕方の延長時間において保育者や保育室の変更があった際でも、日常の保育の中で一人ひとりの子どもの発達や様子について全職員で関わり、情報を連絡し、共有をしていることで不安にならず、落ち着いて過ごせるようにしている。子どものリクエストにはすぐに答えられるよう、環境や玩具、教材を整えている。

6 評価項目6
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
◉あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
◉あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当

評価項目6の講評

子どもたちが食べる楽しさや成長を育む様々な取り組みが行なわれている

0・1・2歳児は一生を通じて食事の基礎を培う時期であることを考慮し、新鮮な野菜を提供をするために農協等の協力を得て、季節にあった食材を取り入れている。毎月、「地場産野菜の日」を設け、旬の野菜や果物を食べる前に実際の目で見たり触れさせてから調理している。味は素材のおいしさが分かるように薄味にし、和食を中心に季節感あふれる給食を提供している。園目標である「よく寝、よく食べ、よく遊ぶ子ども」の実現のために、栄養士を中心に全職員で取り組んでいる。

個々の月齢や年齢・体質や成長を考慮しながら給食を提供している

離乳食では栄養士・保育士・看護師が保護者と話し合いを重ね、子どもの咀嚼や口や手の動きを確認しながら一人ひとりの成長発達に合わせ食材の味を大切にして、「食べることが楽しめる」ように家庭と協力して進めている。アレルギー児の対応でも、保護者と面談をし、医師の指示のもと主菜の場合は可能な範囲で代替食を工夫して提供し、栄養がバランス良く取れるようにしている。提供する際はマニュアルに基づき、職員も必ずそばにいて誤飲誤食が無いように対応している。

食育活動を通して子どもが食べる楽しさを味わえるようにしている

コロナ感染症の中でも、なるべく食に興味が持てるよう食材に触れる・見る・匂を嗅ぐなどの毎月の食育活動と共に、プランターでの野菜作り、芋ほりの体験、企業の野菜作りへの参加など様々な機会を設けて食育活動を行なっている。保護者には食育だよりを通して安心安全な食材の提供をしていることを伝えている。

7 評価項目7
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
◉あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
◉あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当

評価項目7の講評

保育生活における病気や怪我・危険などの予防に取り組んでいる

感染症の蔓延時期の中、看護師が中心となり、低年齢児に分かりやすいように手洗い指導を丁寧に行ない、登園時、おやつや食事前、散歩やトイレ後など習慣化するよう繰り返し職員と一緒に行なっている。交通安全については、毎日のお散歩では歩き方や信号の見方や渡り方などその都度、実践しながら丁寧に伝えている。

子どもの健康管理は家庭・看護師・職員・嘱託医で連携を図っている

コロナ感染症では、「感染しない」、「感染させない」を合言葉に看護師をはじめとして職員全員が保護者や公的機関や嘱託医などと連携を図り、登園時の保護者との確認等健康管理の徹底を図る取り組みを行っている。職員も自己管理の徹底を図り、園で用意したマスクを着用するなど各機関から情報を得つつ看護師が中心となって適切な対応に取り組んでいる。

子ども一人ひとりの健康管理や乳幼児突然死症候群（SIDS）の予防に取り組んでいる

子ども一人ひとりの健康管理では毎朝家庭での体調、使用薬剤の確認など看護師が連絡帳の記載をもとに把握し、保育士に伝え、内服の副作用による怪我の防止に努めている。乳幼児突然死症候群の予防として、0歳児は午睡センサーを装着して5分おきに、1・2歳では10分おきにブレスチェックを行なっている。うつぶせ寝になった際は上向きに寝かせるなど突然死の予防に取り組んでいる。

8 評価項目8
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
◉あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者が就労しながらも安心して子育てができるよう支援を行なっている

保護者の就労等の事情に合わせて延長保育、土曜保育を実施し、個々の就労形態に合った受け入れをしている。延長保育や土曜保育については、定期利用を申し込んでいない保護者についても、急な就労状況の変化がある際にはスポット延長保育や土曜保育により可能な限り対応している。スポット利用をする子どもには不安にならないようゆったり過ごすことで、保護者が安心してスポットが利用できるようにしている。

保護者へ園における保育への理解を促すよう様々な取り組みを行なっている

コロナ感染症の中でも保育活動への理解を得られるように、保育参観は戸外を中心に行ない、懇談会は他の広い施設を借りるなどソーシャルディスタンスを保っての取り組みを行なっている。また日々の保育では、送迎時の会話に加えて、写真を用いて子どもの活動の様子をエピソードを添えて伝えている。さらに月末には一か月の振り返りとしてまとめたものを渡し、保護者に成長の様子を伝えることで好評を得ている。

保護者と共に学ぶ機会を設けている

保護者に向けて、外部講師に依頼して託児・給食つきで何を話してもよいとする連続講座を開催して保護者同士が交流する場としたり、施設を借りての給食講座を実施して両親共に参加する事例がみられたり、父親参加の講座を設けたりといった形で、保護者の子育てについての意識を高めるように支援している。

9 評価項目9
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◉あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

地域の中の保育園を目指様々な地域交流がみられている

コロナ感染症の中、従来行なわれていた近隣の商店街を親子で回る行事は園内でのお店屋さんごっこの形態とされ、それに代わるものとして、近隣の商店に職員が手作りおもちゃを配る形で交流が継続されている。また、近隣の文化センターの祭りに子どもの作品を展示する形での参加もみられている。感染の可能性が低い屋外で行なわれる体育指導や芋掘りでは園の子どもと近隣の子どもが一緒に参加して交流を図っている。

地域の子育て支援のために地域向け事業を実施し体験活動に取り組んでいる

園のホームページに地域に向けた活動についての情報を載せて参加を呼び掛けている。園内での活動が制限される中で、希望者には家庭でも作れるように製作キットを毎月用意して送付したり、テレビ会議システムを使った誕生会を企画したり、保護者に向けた普通救命講習会を実施したりと、工夫をしながら子育て支援に取り組んでいる。

近隣住民との交流を行なっている

園があるマンションとの住人との交流としてマンションお楽しみ企画があり、出来上がり作品と共に説明書付きの製作キットを毎月エレベーター前に置くなどして交流を図り、翌日にはなくなっていることもあり住人から好評を得ている。また、マンションの高齢者サークルに職員が出向き、遊びを披露したり、手の洗い方を伝えるなどの交流もみられている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	食材を無駄なく活用することで持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいる	
内容①	持続可能な開発目標（SDGs）については、園内研修で職員が学び保育・保健・栄養の各部門が合同で取り組んでいる。可能な限り食材の全ての部位を使うようにして、廃棄部分を少なくするよう工夫している。具体的には、ジャガイモは皮まで使う、ブロッコリーは芯まで使うといった実践例がみられている。子どもに対しても、「ニンジンの皮をきれいに洗ったら、全部食べられるよ」などの声掛けを行ない意識付けを図っている。また食材以外の電気や水についても、無駄遣いしないよう子どもに伝えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	コロナ禍にあっても可能な範囲で地域との関係性強化に取り組んでいる	
内容②	コロナ禍のため、子どもがいる園内での地域交流は難しい面があるが、当園はそれにこだわることなく、可能な範囲での地域との交流を考え、実践している。戸外で行なう体育指導等の活動については地域の子どもへ参加を呼びかけ、在園児と一緒に活動している。近隣の商店には職員が手作りおもちゃを配る形で交流が継続されている。また、マンションの住人に向けたお楽しみ企画の実施や、マンションの高齢者サークルと職員との交流もみられている。テレビ会議システムを使った行事の設定等もみられており、工夫し可能な範囲での実施に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	様々な学びの機会を通して組織力向上が図られている	
内容③	職員の処遇改善に関するキャリアアップ研修は受講が終了している。コロナ禍においてはオンライン形式の研修に参加し、知見を深めている。外部の有識者を園に招いての研修も行なわれている。また、園内研修としてクラス単位での研究にも取り組まれており、テレビ会議システムを使った行事、子どもの様子を写真等により深く捉えていく取り組み、わらべ歌、室内の環境等がテーマとして取り上げられている。様々な機会を活用して組織力向上が図られている。	

《事業所名：府中めぐみ保育園》

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	全職員が全ての子どもについて語れる組織風土
	内容	保育・看護・栄養といった職種の壁に拘らず、全職員が全ての子どもの状況を把握し、子どもについて語ることができる保育園を目指した運営がなされている。定例の会議における話し合いに加えて、日常的になされる職員同士の会話を通して子どもの育ちについて共通認識を持ち、子どもの成長を支援しており、保護者から感謝の言葉もみられている。今回の訪問調査の際に、保育職のみならず看護職や栄養職からも園の取り組みについてヒアリングをさせてもらうことができ、取り組みの成果を確認することができた。
2	タイトル	保護者とともに子どもの育ちを見守る取り組み
	内容	園では毎日の送迎時の会話や連絡帳のやり取りを丁寧に行なうことを心がけており、子どもの育ちについて保護者と共通認識を持てるようにしている。また、子どもについての支援計画を立案する際には、園側で全てを完結させるのではなく、基本的な案ができた段階で保護者と話し合いの機会を持ち、その結果も踏まえて最終的な計画としている。園での子どもの様子は写真等を活用して保護者にきめ細かく伝えられており、保護者から感謝の言葉がみられている。
3	タイトル	前向きに物事に取り組み改善を図る姿勢
	内容	園にとって必要なことと判断されればすぐに取り入れ、スピード感を持って実行に移していく姿勢がみられる園である。コロナ禍で行事の実施が困難になった際にも、ただ単に中止するのではなくどのようにすれば実施ができるのかについて検討し、可能な形で実施に取り組んでいる。また、改善点が発見されれば直ちに話し合いを行ない、即実行につなげられている。園内研修等で職員の学び合いの機会も設けられ、そこで得られた知見も活用して園運営の積極的な改善が図られている。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	人事考課制度の定着
	内容	人事考課制度の導入に取り組まれており、人事考課ハンドブックを使用して職員の知識やスキル、組織における役割等を明確化して、職員の成長に繋げるように試みられている。今年度が初年度ということもあり、丁寧な説明をしながら導入を図っている。職員にとっての働き甲斐にもつながるしくみであり、今後の深まりに期待したい。
2	タイトル	子どもを把握するスキルのさらなるレベルアップ
	内容	園では子どもの様子を写真にとり、そこから子どもの学びや興味、関心、成長を捉える取り組みを行なっている。この取り組みは、保護者に子どもの様子を伝えるとともに、職員にとっては自らの支援を振り返り、子どもの今後の成長について見通しを与えるという効果が期待できるものとなっている。この取り組みを進めることで、子どもに対する支援がさらに充実したものとなることが期待される。
3	タイトル	可能な範囲でのICTのさらなる活用
	内容	保育園で用いられる書類は多岐にわたり、その作成に時間が取られるものとなっている。しかし書類を作成するプロセスは子育て支援力の向上につながる面もあり、ICT化が全て正しいということもできず難しい面がある。園の考えに沿った範囲でICT化を図り、業務負荷軽減に取り組むことに期待したい。

回答項

事業所名：「府中めぐみ保育園」(認可保育所)

調査対象者: 36 名

有効回答者: 22 名

NO.1 《利用者調査集計資料(1)》

◆各質問項目の回答結果(実数)の集計

≪毎日の保育サービス≫

	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当・無回答
問1. 園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っていると思いますか	22	0	0	0

(自由意見)

＜はい＞と答えた方のご意見

・他のお子さんから刺激を受けて、言葉や協調性を学んでいると感じます。体をたくさん動かして、心身共にすこやかに成長できていると感じます。

➡乳幼児期は、心も体も大きく成長する時期。一人ひとりの発達状況に配慮した遊びや関わり合いを職員で共有し遊びの充実を図ってまいります。

問2. 園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	22	0	0	0

(自由意見)

＜はい＞と答えた方のご意見

・それぞれの成長に合わせた活動をしており、親としても勉強になる。

・驚くほどバリエーション豊かで、雨の日も色々な遊びで楽しませてくれています。帰りたくない！と言われることもあり、楽しいのが伝わってきます。

➡乳幼児期の興味や関心の芽生えは、その後の主体的な活動につながります。子どもの今の興味や関心を見逃さず、子どもが好きな遊びに夢中になって遊べるよう見守ってまいります。

問3. 園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	22	0	0	0

(自由意見)

＜はい＞と答えた方のご意見

・卵アレルギーの配慮も徹底して下さり、感謝です。

・バランスよく、手作りで、材料にもこだわって作って下さっています。いつもたくさんお代わりしているようです。

・食事量も考え提供して下さるので助かっています。

➡今後も、新鮮で安全な食材を使用しながら栄養バランスの良い美味しい食事を提供し、子ども達が食事を楽しめるように努めてまいります。

問4. 戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	22	0	0	0

(自由意見)

＜はい＞と答えた方のご意見

・戸外遊びは、天気の日はほぼ毎日、ご近所のお店との関わりもあり、コロナ禍のわりに頑張って下さっていると思います。

➡これからも社会とのかかわりを大切に、子どもの興味や関心にそった散歩場所、季節の自然を感じられる散歩場所を設定してまいります。

問5. 急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれていると思いますか	18	0	0	4

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・とても柔軟です。ありがたいです。
・延長保育をギリギリでお願いしても快く対応してくれます。
・遅延の時など、いつもありがとうございます。

➡保護者の方が安心してお迎えに来て頂けるよう、柔軟に対応してまいります。

＜非該当・無回答＞と答えた方のご意見

・めぐみ保育園の対応状況を把握していないため。

問6. 安全対策が十分取られていると思いますか	19	2	1	0

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・二重ロックになっていて、インターホンでもクラス名と名を言う必要があり、安心です。

＜どちらともいえない＞と答えた方のご意見

・安全に十分気をつけて保育して下さっていると思いますが、友達に噛まれることが続いたことがあったので、「どちらともいえない」にしました。でもまだ２歳同士だし、本当に一瞬のことだと思うので、防ぐのが難しいことも分かります。深いキズにならないよう見て頂きたいです。

➡噛みつきがあったときには、チェックシートで噛みつきの原因を分析し、理由を考え未然に防げるよう対応策を話し合っています。今後も、子どもの気持ちに寄り添いながら言葉で伝えられるよう対応してまいります。
園全体の安全対策としては、入園時にお知らせしておりますが、警視庁直結学校110番・機械警備を導入し日中の安全確保の強化を図っています。地震・火災対策では、毎月避難訓練を実施し、万が一に備えております。マンション全体の防犯カメラも作動しておりますが、より安全に留意しながらお子さんが安全に過ごせるよう保育を行ってまいります。

問7. 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思いますか	15	7	0	0

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・たまに平日もありますが、土曜が多く、助かっています。
・親子で参加できるイベントを土日にして下さるので助かっています。

＜どちらともいえない＞と答えた方のご意見

・平日、休日、まちまちです。

➡行事の日程は、在園児と地域で子育てをしている家庭を含めて皆さんが参加しやすいことを考慮して設定しております。親子参加行事は土曜日に、季節の行事と保育参観等は、普段の子どもの生活を見ていただきたく平日に設定しております。今年度はコロナ感染症の拡大防止の状況から延期や中止となることもありました。今後も保護者の方が参加しやすいことを考慮し行事の日程を決めてまいります。
参加のためにお仕事日程調整は難しいと思いますが、ご理解とご参加のほどよろしくお願いいたします。ご不明な点は、いつでも職員にお声かけください。

問8. お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	21	1	0	0

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・毎日お迎えに行くと、今日あった出来事を親のように嬉しそうに話して下さり、こちらも嬉しいです。
・毎日のノートで、相談したことを、お迎えの時に話して下さったり、アドバイス下さったりして、とても助かっています。
・先生によります。

➡温かいお言葉ありがとうございます。コロナ禍の中で玄関先での送迎ではありますが、お子様と保護者の方が安心して過ごせるよう、送迎時でのお話しや連絡帳を活用して、今後も丁寧な対応に努めて参りたいと思います。

≪安心・快適性≫

	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当・無回答
問9. 園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	20	1	0	1

（自由意見）
＜はい＞と答えた方のご意見
・入る機会は一度しかなかったですが、きれいでした。
＜どちらともいえない＞と答えた方のご意見
・コロナ中のため、入ったことがないから。

➡園内清掃に関しましては、毎日清掃箇所を決めて行っております。特にコロナ禍ということもあり、消毒も徹底しております。今後も子どもたちが安全で快適に過ごせる空間づくりを心掛けてまいります。

問10. あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	22	0	0	0

（自由意見）
＜はい＞と答えた方のご意見
・気になることはありません。

➡言葉遣いは、「NG語集」をもとに、不適切な保育につながらないように、引き続き保育園にふさわしい優しくて丁寧に、また態度、服装などは、清潔に努めてまいります。お気づきのことがありましたら、遠慮なく職員に、または『ご意見箱』を利用してお知らせください。正しい言葉遣いや清潔な服装など心がけてまいります。

問11. お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できますか	21	1	0	0

（自由意見）
＜はい＞と答えた方のご意見
・ケガはきちんと謝って下さいます。体調悪い時も少し様子を見て下さるので助かります。
・いつも報告して下さいますし、冷やして下さったり、問題ないです。
＜どちらともいえない＞と答えた方のご意見
・噛みつかれる…ということが続いて不安になったが、対応は良く、その後安心して預けられた。

➡温かいお言葉ありがとうございます。怪我があった際は問６と同様にチェックシートを活用し、原因や再発防止策を話し合い、大きな怪我に繋がらないようにしていきます。
また、お子さんに痛い思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。噛みつきが起こってしまった際には保護者の方にその状況をしっかりとお伝えし、担任で話し合い、室内環境の見直し等を行い、全職員でお子さんが安全に安心して過ごせるよう努めてまいります。
またお子さんの体調の変化やけがをしたときは、今までと同様に迅速にお知らせいたします。
さらに体育遊びを通しての体作りを行い大きなケガにつながらないように努めてまいります。

問12. 子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	14	3	1	4

（自由意見）
＜非該当・無回答＞と答えた方のご意見
・未だそのような話は聞いておりません。

➡子どもの成長に合わせて子ども同士のやりとりを大切に、見守りながら子どもの気持ちを尊重し対応してまいります。

≪利用者個人の尊重≫

		はい	どちらともいえない	いいえ	非該当・無回答
問13.	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	22	0	0	0

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・とても思います。子どもも先生が大好きです。
・イヤイヤがしっかり出る時期なのですが、子どもに合わせ抱きしめて下さったり、話を聞いて下さり、感謝しています。

➡温かいお言葉ありがとうございます。今後もお子さんの気持ちを大切にしながらイヤイヤ期の気持ちもしっかりと受け止め、自分の気持ちを安心して伝えられるよう寄り添ってまいります。

問14.	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	21	0	0	1

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・具体的にはピンときませんが、職業や年齢は知られていない感じがします。

➡これからも園のプライバシーポリシーの規定にそってお子さんと保護者の方のプライバシーの保護に努めてまいります。

問15.	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	21	1	0	0

（自由意見）

・記載なし

➡あそびの様子はドキュメンテーション、成長はポートフォリオなど、写真を通してお伝えしております。また、月間の保育のねらいとその姿については、月末４枚の写真でお伝えしております。今後もお子さんの様子をわかりやすく伝えるよう職員一同、工夫してまいります。

≪不満・要望への対応≫

		はい	どちらともいえない	いいえ	非該当・無回答
問16.	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	19	1	0	2

（自由意見）

＜はい＞と答えた方のご意見

・スケジュールの調整など、すぐに対処して下さいます。

＜非該当・無回答＞と答えた方のご意見

・不満を持ったことがないため。

➡不満やご要望がございましたら素早い対応で解決に向かうよう努めてまいります。いつでもご相談ください。

問17.	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることをわかりやすく伝えてくれましたか	13	2	0	7

（自由意見）

＜非該当・無回答＞と答えた方のご意見

・園を越えて対応が必要な事態になったことがないため。

➡第三者委員につきましては、入園のしおりや重要事項説明書、おたよりなどに記載しまた入園説明会でご説明しております。ご不明な点がございましたら職員にお声掛けください。

NO.2 《利用者調査集計資料(2)》

◆総合的な感想および自由意見の項目についての集計

〔1〕現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じているか。

大変満足	満　足	どちらとも いえない	不　満	大変不満	未記入・ 無回答
19	3	0	0	0	0
86.4%	13.6%	0%	0%	0%	0%

〔2〕日頃お感じになっている事業所に対するご意見・ご要望など

＜大変満足＞と答えた方のご意見

- 常日頃から、子どもの発達、成長に寄り添った保育をして頂き、大変満足しています。安心して子どもを預けることができています。
- とにかくアットホームな保育を意識しており、保活中に市職員からもめぐみ保育園の評判の良さを聞いていたので、その通りだなと実感しています。2歳までしかいられないのが正直もったいないくらい、長く付き合い続けたい、とてもステキな保育園です。
- 入所前に伺っていた評判通り、すばらしい保育園です。日々の様子を写真付きで渡して下さったり、月1回子どもの写真をまとめて下さって、園の様子が分かり安心します。
- 送り迎えの時の会話も、子どもを大切に保育して下さっているのが伝わってくるエピソードなどを聞けますし、こちらが相談すると真剣にアドバイスを下さったり、とても信頼できる保育士さん達です。
- 園の先生全員が名前を覚えて下さっています。日々の屋内外の遊びもバリエーション豊かで、子どもが帰りたがらないくらい楽しく過ごせていて、本当にこの園に入れて良かったです。
- すごく丁寧に子どもを見て下さって感謝しています。日々の保育で、子どもの成長を考えた遊びや工夫を取り入れてくれるので、本人も楽しそうに保育園で過ごしています。
- せっかちな先生もいらっしゃる様ですが、皆さんしっかり時間を取って話をしてくれます。細やかな対応までして下さり、日々とても助かっています。
- 子どもの発達のことで悩んでいた時、「面談しましょうか」と先生から提案して下さったことが、大変ありがたかったです。自分から面談したいというのも、言うほどのことなのか、先生方のご負担になってしまうのではないかと考え、言い出しづらかったので、とてもほっとしました。“悩んだ時間に相談できる”と思えると、とても励みになります。とても感謝しています。
- 先生方は本当に真摯に子どもと向き合って下さり、子どもも保育園が大好きです。自分の担任の子ども以外の体調なども把握していて下さり、細やかにお声がけしていて頂いています。雰囲気もとても良く、2歳までしか通えないのが本当に残念です。いつも感謝しかないです。
- 全国の保育園で悲しい事件が起きていますが、めぐみ保育園では先生方が一人ひとりに寄り添って下さるので安心して預けられます。子どもも、よくお友達や先生の名前を出して、保育園楽しい、早く行きたい、と言っています。いつもありがとうございます。
- 担任の先生だけでなく、看護師さんや栄養士の先生など、随時相談に乗って下さり、本当に感謝しています。いつもありがとうございます。
- 先生方も毎日たくさんの子どもを見ていて本当に大変だと思います。しかし、お迎えの時に、その日あったことを何も話して下さらないときがあり、子どもの様子が聞けないとさみしいです。クラスの違う先生はもちろん仕方がないと分かっていますが、1つでもエピソードを頂けるとありがたいです。

感想及び自由意見に対する回答

1，日々の保育や発達・生活について

乳児園だからこそ『36 人の子どものことは、全職員が語る』を目標に会議などで情報を共有しております。また各クラスの保育については、定員に合わせた職員配置以上に保育者を配置し、戸外でも室内でも子どもが自分の好きな遊びに夢中になって遊べるように環境を整えております。食事では小人数で各テーブルに保育者がつき、美味しく食べられるように、ゆったりとした雰囲気を大切にしております。

今後も子どもの権利条約と保育所保育指針を手元において、乳児の心と自ら夢中で遊ぶことを尊重してまいります。主体性の芽生えを大切にしてまいります。

保育園には、保育士、栄養士、看護師がおります。食事のこと、健康のこと、遊びのことなど、お気軽にお声かけください。また、お子さんの発達など、ご心配事のある時はいつでも面談をさせていただきます。お気づきのことがありましたらお知らせください。

今後も保護者の皆様と一緒にお子さんの育ちを見守っていきたいと思います。

2．保護者の方とのコミュニケーションについて

送迎時の保護者の皆様とのコミュニケーションを大切に、話しやすい環境づくり、信頼関係づくりを心がけております。

お子さんの一日の様子をわかりやすく、また昨日・今日・明日の成長がつながるようにお伝えすること、また担任が不在の際は、担任から一人ひとりの子どもの様子などを担当者が引き継ぎ、エピソード等を丁寧に伝えるようしております。

また今後も子ども一人ひとりの成長・発達を見通した毎月の保育のねらいを保護者の方と一緒に考えられるよう、分かりやすくお伝えしてまいります。さらに毎日の連絡帳、写真を使ったクラスだより、ポートフォリオなどでお子さんの様子を可視化し、こまめに伝えてまいります。わかりづらいことがありましたら、遠慮なくおたずねください。

０～２歳児の大切な時期の保育を今後も丁寧に温かく、保護者の方とのコミュニケーションを図り、一緒にお子さんの育ちを支えたいと思っております。